

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	北部地域療育センター	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 同愛会 ・代表者名 理事長 高山 和彦 ・住所 横浜市保土ヶ谷区上菅田町金草沢1749	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	通園定員 60名 通園契約児137名(136名) 診療所利用児数 年間延べ5,257名(5,330名) リハビリ・検査実施数 年間延べ4,406名(4,855名) ()内は前年度実績		
収支実績	【収入】 給付費収入 89,368千円 医療事業収入 26,066千円 指定管理委託料 268,429千円 積立金取崩収入 3,890千円 その他 13,136千円 合計 400,890千円 【支出】 人件費 323,224千円 事務費 52,781千円 事業費 15,903千円 固定資産 7,601千円 合計 399,509千円 収支差額 1,380千円 ※千円未満切り上げのため合計に微差あり		
サービス向上の取組	・第1・第3土曜日に「ほくほく広場」を開催し、施設を誰でも使える遊び場として提供した。保護者の相談、インテークを前にした見学の場としても活用し、子育て支援の場となるよう取り組んだ。 ・地域の保育所、幼稚園等の関係機関の担当ソーシャルワーカーを定め、関係機関との関係を強化し、地域に求められる施設を実現した。 ・多職種連携による集学的療育を掲げ、多職種参加のクラス運営、ケースカンファを実施し多角的な視点で支援を行った。		

3. 評価（評価段階:5→1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由) ・コロナ禍の利用調整機関についても電話連絡、園庭開放、運動ホール開放を通して利用者の状況把握とともに保護者を孤立させないよう努めた。また例年開催している行事等も形式を変え実施するなど、できるだけ継続の可能性を模索した。 ・職種間連携を緊密に行い、利用者の状況を適切に把握し有効な療育を提供した。 ・地域への訪問活動などを実施し、関係機関との連携促進に努め、地域包括ケアシステムの構築に寄与した。				
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
	(評価の理由) ・前年度に引き続き法人内部監査室による監査と外部公認会計士による監査を行い、厳格な経理業務の運用を行った。 ・財政援助団体会計監査にて積立金について指摘を受け、現在は取り扱いに関する定めに基づき計画的な取り崩しを行っている。				
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・新型コロナウイルスの影響で利用の調整を行っていた期間についても、園庭、運動ホールを開放し、利用者の状況把握と不安に寄り添うような施設運営に努めた。 ・支援会議を通じて各利用児童に必要な療育を組織的に把握するとともに十分かつ適切な療育の提供を行った。 ・地域の幼稚園や保育園の担当者を明確にすることで、各園との連携が深まり、円滑な情報共有・スムーズな相談支援を行った。 ・「集学的療育」を掲げ、多職種連携による通園短時間療育グループの運営を行ったり、ケースカンファレンスを行うことで、適切なアセスメントに基づく重層的な支援を行った。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) ・所内の各部門を取りまとめる主任職員を対象にコーチングを実施し、職員の育成と働きやすい職場環境の構築に努めた。通園療育においては経験のある職員を配置し、日常の中でOJTが実施できる体制を整えた。また、管理職と各職員の面談を実施し、労働環境の課題把握に努めた。 ・外部の研修について中止になるなど回数は減ったが、在宅勤務時にレポート、所内研修の資料作成などで質の高い支援ができるよう取り組んだ。 ・防災委員会を設置し、災害用備蓄の配備確認や月1回の頻度で防災訓練を実施するなど、センター全体での防災意識の醸成を図った。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	(評価の理由) ・仕様に応じて定期的な保守点検を実施し、不具合等があれば早期に所管課へ連絡を行い適切な保全対応を行っている。 ・築29年を超え老朽化した施設の保全や状態確認を行い、丁寧なメンテナンスに努めている。				

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A～E,標準:・C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・地域の中核機関として地域包括ケアシステムを意識した地域全体を視野に入れての取り組みや貢献活動がみられた。
- ・昨年度から継続して、療育の質の向上に向けてセンター内における職種間連携を重視した取り組みが多く行われていた。
- ・外来部門・通園部門の業務交流を進めることで、多職種連携強化・人材育成を図り、適切なアセスメントや効果的な支援の実施につなげている。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き職員の適切な労働環境および利用児童への良質なサービスの提供の両立に努めること。